1. 熊本市宿泊税検討委員会の概要

- ・ 熊本市附属機関設置条例第2条に基づく市長の附属機関
- ・ 本市における宿泊税の導入に関する事項を審議するもの

2. 委員の構成

所属	役職	氏名	備考
熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科	准教授	井寺 美穂	
東海大学 文理融合学部 地域社会学科	客員教授	小林 寛子	会長
(一社)日本旅行業協会九州支部 熊本県地区委員会	委員長	島添 哲也	副会長
熊本市観光旅館ホテル協同組合	理事長代行	鶴山 敏哉	
熊本市ホテル連絡協議会	代表理事	長尾 勇	
熊本市旅館ホテル組合	組合長	西上 佳孝	
熊本経済同友会	幹事	西原口 香織	
植木温泉観光旅館組合 こまち会	代表	平山 愛	
(一社)民泊観光協会 熊本支部	代表	吉川 香寿美	

※敬称略。五十音順

3. 審議の経過及び今後の予定

(1) 第1回会議の審議内容

【開催日】

令和5年(2023年)10月31日(火)

【議事内容及び各委員からの主な意見】

議事① 観光振興の重要性・財源確保の必要性について	
	コロナ禍でダメージを受けた観光需要が回復しつつある今、スピード感を持って観光振興に取り組む必要がある。
	誘客や宿泊につながる観光資源の魅力創造及び発信、交通利便性の向上等の受入環境整備に関する取組が重要である。
議事② 観光振興のための財源の検討について	
	観光振興に集中的に取り組むための財源を確保していく必要がある。
	宿泊税導入の検討にあたっては、九州他都市の検討状況、導入都市における利点や課題など、具体的事例を踏まえて議論していく必要がある。
議事③ アンケート調査について	
	回答が容易になるように、設問や回答方法の工夫が必要である。

(2) 今後の予定

令和5年11～12月	アンケート調査(対象:市内宿泊事業者及び本市への来訪者)
令和6年 1～2月	検討委員会会議の開催(導入都市の事例研究を踏まえた審議)
令和6年 2月	市議会への審議状況の報告(令和6年第1回定例会)
令和6年 3月	審議結果の答申